

(配付用)

西南水産株式会社の概要と取組について

1 会社概要

- ・本 社 鹿児島県（奄美大島）
- ・資本金 150百万円（「ニッスイ」100%出資会社）
- ・事業所 計7ヶ所（鹿児島県4、大分県1、長崎県1、京都府伊根町1）
- ・社員数 約130名
- ・業務内容 平成9年6月から奄美大島でクロマグロ養殖事業を開始、
現在、クロマグロを中心とした養殖事業を実施
近年のクロマグロ養殖の年間生産量は、1,500トン

2 伊根地区でのクロマグロ養殖の主な経過

- ・冬場に良質な大型クロマグロを供給していきたいという思いから、日本海沖で夏にまき網漁業で漁獲される大型魚（約100kg/尾）の一部を利用する「養殖（短期蓄養）」の事業化を検討。
- ・海域や地理的条件など検討した結果、京都府伊根町が最適と判断。
- ・平成16年1月に旧伊根町漁協を訪問、事業化に向けた考えを説明、地元及び漁協等の協力を得て、平成19年から伊根町青島沖で養殖事業を開始。

3 主な実績と今後の展開等

- ・近年の生産実績は、約3千尾（約300t）。
- ・育成魚は、「伊根まぐろ」として特産化。
- ・大型魚の品質向上や育成管理方法の確立、販路開拓等に努めてきたとともに、全国に出荷販売を行い、経営的にも安定へ。
- ・事業継続を通じ、地元漁業者等への雇用機会の提供をはじめ、漁協の経済事業へも一定貢献。
- ・クロマグロについては、国際的な資源管理の取組が進められており、国内の養殖業も管理対象、今後、国が進める資源管理に積極的に協力、地元や漁協の協力を得て、伊根地区の大型クロマグロ養殖事業を持続可能なものへしていきたい。
- ・今後も養殖技術の改良に努め、より高品質で美味しい「伊根まぐろ」を生産、地元向けの販売にも努め、地域の活性化等に協力していく。

※養殖事業の持続可能性とは

- ① 自然、資源、環境的に持続すること
- ② 地域社会との共存共栄で持続すること
- ③ 経済的に会社／事業が持続すること

※養殖事業の持続可能性とは

- ① 府には魚類養殖に適する海域があり、生産拡大は十分可能と思われる。
- ② 今後は、観光分野等との連携を一層強化して、
京都ならではの魅力のある養殖魚の目指していくのが良いと思われる。